

名古屋大学大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻 物質創成工学講座 助教 公募要領

1	募集件名	助教の公募	
2	所属	大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻 物質創成工学講座	
3	募集内容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後）触媒プロセス（資源・エネルギー・環境関連の触媒など）、生体触媒（細菌など）または太陽光を変換する半導体などを活用した燃料や化学原料の合成に関する教育および研究、学部におけるマテリアル工学実験、専攻における演習、セミナー、特別実験などの科目の担当 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区（東山キャンパス） （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 1名	
		[着任時期] 2025年10月1日以降のできるだけ早い時期	
4	募集研究分野	大分類	ものづくり技術、ナノテク材料
		小分類	触媒プロセス、資源化学プロセス、グリーンサステイナブルケミストリー、環境化学、構造材料、機能材料、バイオ機能応用、バイオプロセス工学
5	勤務形態	常勤（任期付） 契約期間：期間の定めあり（任期5年） 試用期間：あり（採用日から6か月） 任期中の業績、研究の進捗状況等を公正に評価の上、1回に限り再任可。なお、教育・研究の実績及び能力、教員としての資質等を審査し、上位職への昇格が相応しいと認められた場合は、任期中に上位職（任期なし）への登用が可能です。 通算契約期間：東海国立大学機構教員の任期に関する規程の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110011019.htm	
6	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士の学位を有している者（着任時までに取得見込の者を含む） ・触媒プロセス（資源・エネルギー・環境関連の触媒など）、生体触媒（細菌など）または太陽光を変換する半導体などに関する研究に精通し、これらを活用した燃料や化学原料の合成への応用に取り組める方 ・専門分野に研究業績があり、学部生、大学院生の研究指導に熱意を持てる方 ・学部および大学院において、日本語で教育および研究指導を行える方	
7	待遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止	
8	応募期間	2025年4月1日～2025年5月30日(必着)	

9	応募・選考 結果通知 連絡先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <p>提出書類</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 履歴書（形式自由、写真添付、連絡先、E-mail アドレスを明記） (2) 研究業績リスト（査読付き原著学術誌論文、国際会議論文、総説・解説記事、著書、特許、受賞、招待講演等に分類） ※責任著者（corresponding author）にアンダーラインを付すこと (3) 主要原著学術誌論文の別刷 3編以内 (4) これまでの研究概要（図表込みで A4 で 1 ページ） (5) 教育・研究に対する抱負（図表込みで A4 で 1 ページ） (6) 所属する学会、学会や社会における活動、国際的活動 (7) 競争的資金の獲得状況（科研費・助成金・共同研究等、代表・分担を明記のこと） (8) 応募者に関するコメントを求め得る方 2 名の連絡先 <p>提出書類を 1 つの PDF にまとめて電子メール添付により送付してください（添付ファイルは 20MB まで。電子メールでの送付が困難な場合には、送付先までご連絡ください）。電子メールの件名は「物質プロセス工学専攻 物質創成工学講座 助教応募（応募者氏名）」としてください。なお、受取の確認メール（受領後 1 週間以内に連絡）を必ずご確認ください。</p> <p>送付先 名古屋大学 大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻 専攻長 宇佐美徳隆 E-mail: jinj3@material.nagoya-u.ac.jp</p> <p>問い合わせ先 名古屋大学 大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻 教授 王 謙 電話: (052)789-3250 / E-mail: wang.qian@material.nagoya-u.ac.jp</p>
10	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書類審査の後、必要に応じて面接審査を行います（旅費等は応募者の負担となります）。 ・ 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・ 適任者がいない場合は、採用を保留することもあります。 ・ 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・ 本学では、業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・ 出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。 ・ 本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンターWeb サイト https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロンギング（Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB）推進宣言 https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・ 2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。